

1 調査日 令和4年11月1日（火）～2日（水）

2 調査の概要

11月1日（火）

（1）富山県議会（富山県富山市）

調査事項：地域公共交通の取組について

富山県においては、本年6月に新たな地域公共交通計画の策定のため、交通事業者や有識者をはじめとする関係者が幅広く協議する場として新たに法定の協議会である「富山県地域交通戦略会議」を設置し、富山県の成長戦略であるウェルビーイング（真の幸せ）の向上を目指して同会議内に専門部会を設置し、将来の地域交通のあり方を検討されているところである。

については、今後の委員会活動の参考とするため、富山県を訪問し、富山県における地域交通のあり方検討の状況、地域公共交通の現状および維持・活性化に向けた取組み等について調査を行った。



（2）富山地方鉄道（市内電車）（富山県富山市）

調査事項：地域公共交通の維持・活性化の取組について

令和2年（2020年）に富山駅の北側を走っていた路面電車である富山ライトレールと駅南側を走っていた富山地方鉄道が合併し、2つの線路がつながることにより、富山市における公共交通の利便性が向上した。現在、富山市が軌道整備事業者、富山地方鉄道株式会社が軌道運送事業者として、上下分離方式での鉄道運営がされている。

については、今後の委員会活動の参考とするため、富山地方鉄道を訪問し、地域公共交通事業者の取組についての調査を実施するとともに、路面電車の施設、設備についての視察を行った。



11月2日（水）

（3）福井県議会（福井県福井市）

調査事項：①地域公共交通の取組について

②国民体育大会・全国障害者スポーツ大会後のスポーツ振興等について

福井県は、一世帯当たりのマイカー保有台数が全国一位となるなど、全国有数の車社会であり、平成20年度から車に頼りすぎない社会を目指す運動である「カー・セーブ」運動を実施し、行政、経済・商業団体、利用者団体等が連携し、地域公共交通の積極的な利用を推進されている。

また、平成30年に第73回国民体育大会・第18回全国障害者スポーツ大会を開催されており、男女総合優勝（天皇杯）、女子総合優勝（皇后杯）の輝かしい成績を残されている。

については、今後の委員会活動の参考とするため、福井県を訪問し、福井県における地域公共交通の現状および取組み等について調査を行うとともに、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会終了後のスポーツ振興・競技力向上の取組や大会で整備された施設の活用状況等について調査を行った。



（4）えちぜん鉄道、福井鉄道（福井県福井市 他）

えちぜん鉄道と福井鉄道は、2016年に地方私鉄の相互乗り入れを開始し、交通の利便性を向上させた結果、乗客数を大きく増加させている。

また、近年は車に頼りすぎない社会を目指す取組として、自治体と連携して駅の近くの駐車場を整備し、「パーク&ライド」によるマイカー通勤から電車通勤への推進を図っている。

については、今後の委員会活動の参考とするため、福井県内の地方鉄道における公共交通の取組について現地視察を行った。

